

**令和3年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法**  
**学校番号 定6**  
**千葉県立行徳高等学校 定時制の課程 普通科**

**1 期待する生徒像**

次のいずれかに該当する生徒

- ア 働きながら学び、自ら「学び・考え・行動」する意欲があること。
- イ 高校生活にまじめに取り組み、自分の力を伸ばす意志のあること。
- ウ 思いやりの心を身に付け、自他を尊敬して共生する意欲があること。

**2 選抜資料**

(1) 学力検査	3教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
ア 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：15分程度 ※受検者数によっては評価者2名の個人面接とする場合もある。
イ 作文	字数：400字以上600字以内（日本語による） 検査時間：50分
(4) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

**3 評価項目及び評価基準**

**(1) 学力検査〔300点満点〕**

評価項目	評価基準
3教科の得点合計	3教科(各教科100点満点)の合計300点満点で評価する。

**(2) 調査書〔135点満点〕**

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定が全学年の計で3以下の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	記載内容を選抜の際の参考とする。
オ 総合所見	記載内容を選抜の際の参考とする。

### (3) 学校設定検査〔150点満点〕

#### ①面接〔100点満点〕

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

評価項目ごとの3名の評価者の評価による、評価項目ごとの評価の組合せ(a a a～c c c)で得点化する。評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

※評価者が2名の場合には、評価項目ごとの2名の評価者の評価による、評価項目ごとの評価の組合せ(a a～c c)で得点化する。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
エ 面接に臨む態度	面接に臨む態度が適切である。 基本的な面接作法が身に付いている。

#### ②作文〔50点満点〕

3名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

評価項目ごとの3名の評価者の評価による、評価項目ごとの評価の組合せ(a a a～c c c)で得点化する。評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。 全体としてのまとまりがある。
イ 内容・文章表現	与えられたテーマに対して内容が適切である。 誤字や脱字がない。文法を正しく用いている。

### (4) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願理由	本校を志願する理由を確認し、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	特に優れた内容等を確認し、総合的に判定する際の参考とする。

#### 4 選抜方法

##### (1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接・作文）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

〈総得点の満点の内訳〉

学力検査 の得点	調査書の得点	学校設定検査の得点		総得点
	評定（K＝1）	面接	作文	
300点	135点	100点	50点	585点

##### (2) その他

- ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。
- イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

令和3年度 成人の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 定6

千葉県立行徳高等学校 定時制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：15分程度 ※受検者数によっては評価者2名の個人面接とする場合もある。
(2) 作文	字数：400字以上600字以内（日本語による） 検査時間：50分
(3) 成人の特別入学者選抜志願申請書	実施要項（様式9）により、「志願した理由」を記入したもの。

2 評価項目及び評価基準

(1) 面接

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、それぞれの評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
エ 面接に臨む態度	面接に臨む態度が適切である。 基本的な面接作法が身に付いている。

(2) 作文

3名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、それぞれの評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。 全体としてのまとまりがある。
イ 内容・文章表現	与えられたテーマに対して内容が適切である。 誤字や脱字がない。文法を正しく用いている。

### (3) 成人の特別入学者選抜志願申請書

評価項目	評価基準
記載内容	記載内容を選抜の際の参考とする。

## 3 選抜方法

### (1) 選抜の方法

成人の特別入学者選抜志願申請書等の書類の審査並びに面接及び作文の結果を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。

### (2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。